

「怒る」と「叱る」の違い

おこる	しかる
感情的な行動	理性的な行動
自分のために	相手のために
過去に焦点を当て	未来を見据えて
怒りと勢いで	愛と勇気で
自分の言いたいように	相手に伝わるように
感情に任せて	試行錯誤しながら

* **できる人は、決して怒らないものです。上手に叱って人を育てます。**

* 効果的に「叱る」ために重要なことは

1、すぐ叱る。(タイミング)

あとになって「あの件だけだね・・・」と叱るのは効果が薄い。

2、短く叱る。(スカッと、さわやかに!!)

言いたいことが山ほどあっても、だらだらと説教するのは意味がない。

叱ったらすぐその場を離れること。ニラミをきかせると逆効果。

3、1対1で叱る。(場を考えること)

みんなの前で叱って、恥をかかせる必要はない。

先人のことば (6つの心掛け)

- 1、叱りっぱなしの叱り方をしてはいけません。
- 2、隊員の人格を否定する叱り方をしてはいけません。
- 3、場当たり、思いつきの叱り方をしてはいけません。
- 4、叱らず叱る叱り方をしなければなりません。
- 5、策を弄する叱り方をしてはいけません。
- 6、成果・結果を追求する叱り方をしてはいけません。

指導者は、「叱るに値する自己の人的成長」をする必要があります。

* **日本連盟創立100周年 スカウト育成目標**

『活動的で自立したスカウトを育てる』